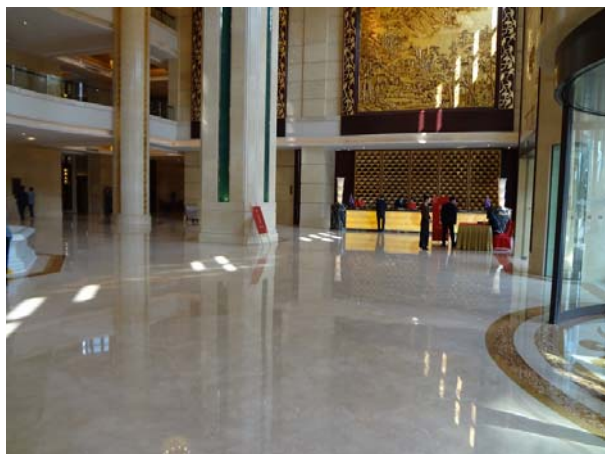


フブ・服部の中国通信

豪華絢爛



先日開業した恵安達利世紀ホテルに早速泊まってきました・・・

取材です。遊びではありません・・・ 本当です。信じてください(汗)

ホテルのオーナーは達利食品、私なども若かりし頃は達利食品のスナック菓子やビスケットにお世話になったもので、高級感の割に親近感もあります。

崇武にあるウエストガルリゾートホテルもこのオーナーですね。



↑別に達利食品の回し者というわけではありませんが、こういう物を作っている会社です。中国のスーパーやコンビニなら大体置いてありますのでご興味があればどうぞ。

曰く、このホテル建造に8億元(約144億円)を投じたそうで床は総大理石貼り、その他内装も豪華そのものです。住環境だけなら廈門の最高級外資ホテルと比べても遜色ありません。



取材のためとは言え、私のようなみずぼらしいのが泊まって良かったのかしら・・・

ものすごく厳しい事を言うと水周りに若干の甘さがありましたが、とても良いお部屋でした。

これだけの設備にも関わらず宿泊費が人民元398／泊とかなりお値打ちです。

でも、この設備でこの宿泊費、どうやって投資額回収するんだろう・・・？

この疑問には弊社仕入先D社のL社長(美人)が答えてくれました。

「大丈夫、このホテルは赤字だと思うけど、このホテル単体で儲けなくても良いの。これだけのホテルだからお偉方達の会議をしたり有名人が泊まったりするでしょ？そうしたら達利食品の名前も上がるでしょ？そうしたらまたお金が集まる・・・そういうことだと思っよ」だそうす。

なるほどお金持ちの考えることはスケールが大きいですね・・・バブリーです。

ともあれ崇武惠安界限にご宿泊の際はこちらもご検討ください。お客様にも十分お勧めできるホテルかと思ひます。

切れます、切れます？



きらびやかなホテルを出て、こちらは崇武の路上。刃物の実演販売です。

この硬いプラスチック、ハサミでも包丁でもキス一つつかないでしょ？それがこの穴あけ機を使うとほら見て、見て！

というような内容の、軽妙な語り口で人だかりを集めていたおじさんです。

この穴あけ機何に使うんだろう・・・？と思わなくも無いですが、トークの技術一つで聴衆を集めるこの能力、トーク力が問われる局面も多い私たちの仕事、見習うべきところも少なくないようです。

さて、今月は景気のいいお話と崇武の日常を紹介させていただきましたがいかがでしたでしょうか？

今年は新年早々より旧正月対策に走り回らないといけません、あわせて取材を兼ねた国外脱出計画も諦めずに進行していきたいと思っております。

今年もよろしく願いいたします。

2014年1月 服部